

平成28年度特定設備事故届出状況（遊戯施設）

番号	事故発生日	事故の分類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	4/9	乗物の脱線や衝突など	到着前に安全装置作動により2台が緊急停止し、接触した。	遊園地	20～64歳	2	①ムチ打ち・背中和腰の痛み ②腰の痛み	入院不要	・全車両の側車輪の調整 ・当該車両2台は側線に留置 ・道路上の台数を減らし、車両間隔をあげた
2	4/18	その他・不明	両手を挙げて乗車中、遠心力により籠と同乗者に挟まれ胸部を圧迫された。	遊園地	20～64歳	1	左肋骨骨折	入院不要	安全バーを持つように全員に声掛けしている。
3	5/2	器具などに衝突する	降車時に装飾品に接触した。	遊園地	20～64歳	1	側頭部負傷	入院不要	・装飾品を柔らかい素材に変更 ・従業員に誘導時の注意喚起を徹底
4	5/3	運行管理上の不注意による	安全バーを下げる際に確認を怠ったことにより、指が挟まり負傷した。	遊園地	20～64歳	1	右手小指打撲	入院不要	従業員に目視確認してから安全バーを下げるように徹底。
5	5/4	体調不良等	降車時にバランスを崩して、プラットフォームへ落下した。	遊園地	65歳以上	1	足の指骨折、ひじの擦り傷	入院不要	子ども・高齢者利用の際は、より一層安全な接客対応を指導した。
6	5/10	機械的トラブルなど	駆動タイヤがレールの支持鋼材に接触し、急停車した。	遊園地	13～19歳	3	ムチ打ち	入院不要	・駆動ホイールのボルトヘロッキングワイヤーの取付 ・該当ボルトのトルク管理を行う
7	5/15	その他・不明	乗車時にメガネを外していたので足元の段差に気づかず転倒した。	遊園地	65歳以上	1	左足甲骨折	入院不要	床面にクッション性のあるマット等の設置を検討する。
8	6/11	その他・不明	落下時にラップバーを持たず両手を挙げていた乗客が、降車後、気分不良で歩行不可となった。	遊園地	65歳以上	1	圧迫骨折	3週間以上の入院	既に乗車姿勢を含む案内や利用制限も案内しているため、今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。
9	7/10	その他・不明	降車時に、段差に足をとられ転倒した。	遊園地	13～19歳	1	左足首骨折	入院不要	床面にクッション性のあるマット等の設置を検討する。
10	7/23	体調不良等	降車時に持病の左膝に痛みを感じ、バランスを崩して転倒した。	遊園地	20～64歳	1	左手首・左大腿部骨折	不明	既に乗車姿勢を含む案内や利用制限も案内しているため、今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。
11	9/9	その他・不明	乗車時に乗り物にかけた足が滑り、転倒した。	遊園地	20～64歳	1	額出血	入院不要	床面にマットを施工し、クッション性と視認性の向上を図る。
12	12/11	器具などに衝突する	乗車時に隣の座席の手すりと安全バーに手を置いた時に、隣の座席者が気づかずに安全バーを下ろしたことにより負傷した。	遊園地	13～19歳	1	人差し指挫創	入院不要	手すりへの注意喚起ラベル貼付と乗降補助の手すりを追加する。
13	12/18	器具などに衝突する	安全バーと体の間に隙間ができており、上下左右に揺られ腰を痛めた。	遊園地	不明	1	腰椎捻挫・椎間板障害	不明	既に乗車姿勢を含む案内や利用制限も案内しているため、今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。
14	3/19	その他・不明	正しい姿勢でVRゴーグルを装着せずに乗車し、首に衝撃を感じた。	遊園地	20～64歳	1	頸椎捻挫・末梢神経障害	入院不要	乗車姿勢に関する注意は繰り返し案内しているため、今回の事故を受けて特に対策を講じることはない。